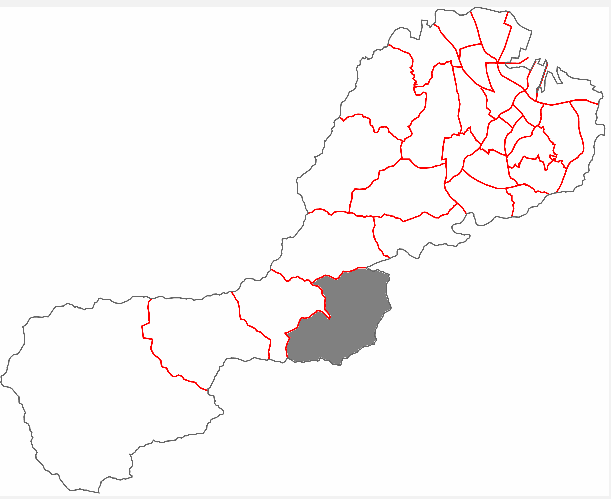


29 櫛田川中流粥見地域

1 地域の現況と課題

1. 地域の概要

地域の現況		位置図																																																																									
<ul style="list-style-type: none"> 森林と集落地を中心としながら、お茶の生産拠点としても位置づけられる地域である。 土地利用の大半は山林・原野で占められており、櫛田川周辺の国道166号沿道に集落と農地が形成されている。 飯南地域振興局、道の駅茶倉駅等が配置されており、地域核としての拠点形成が求められる地域である。 また、有間野公園のモミジ、富士見ヶ原のツツジの自然林などの景観資源、井尻遺跡・リバーサイド茶倉・茶業伝承館などの景観・観光資源等が立地している。 																																																																											
基礎データ		土地利用現況																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">都市計画区域</th> <th rowspan="2">都市計画区域外</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>市街化区域</th> <th>調整区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域面積 (ha)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4,121.8</td> <td>4,121.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人口</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>3,416</td> <td>3,416</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>3,329</td> <td>3,329</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>0,975</td> <td>0,975</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">世帯数</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>994</td> <td>994</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>1,023</td> <td>1,023</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>1,029</td> <td>1,029</td> </tr> <tr> <td>人口密度 (人/h)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table>			都市計画区域		都市計画区域外	合計	市街化区域	調整区域	地域面積 (ha)	—	—	4,121.8	4,121.8	人口	H.12	—	3,416	3,416	H.17	—	3,329	3,329	H.17/H.7	—	0,975	0,975	世帯数	H.12	—	994	994	H.17	—	1,023	1,023	H.17/H.7	—	1,029	1,029	人口密度 (人/h)	—	—	0.8	0.8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>面積 (ha)</th> <th>構成比 (%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宅地</td> <td>82.7</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非宅地</td> <td>農地</td> <td>271.1</td> <td>6.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林・原野</td> <td>3,593.1</td> <td>87.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>174.9</td> <td>4.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>4,039.1</td> <td>98.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,121.8</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種別	面積 (ha)	構成比 (%)	備考	宅地	82.7	2.0		非宅地	農地	271.1	6.6		山林・原野	3,593.1	87.2		その他	174.9	4.2		小計	4,039.1	98.0		合計	4,121.8	100.0	
	都市計画区域		都市計画区域外	合計																																																																							
	市街化区域	調整区域																																																																									
地域面積 (ha)	—	—	4,121.8	4,121.8																																																																							
人口	H.12	—	3,416	3,416																																																																							
	H.17	—	3,329	3,329																																																																							
	H.17/H.7	—	0,975	0,975																																																																							
世帯数	H.12	—	994	994																																																																							
	H.17	—	1,023	1,023																																																																							
	H.17/H.7	—	1,029	1,029																																																																							
人口密度 (人/h)	—	—	0.8	0.8																																																																							
種別	面積 (ha)	構成比 (%)	備考																																																																								
宅地	82.7	2.0																																																																									
非宅地	農地	271.1	6.6																																																																								
	山林・原野	3,593.1	87.2																																																																								
	その他	174.9	4.2																																																																								
	小計	4,039.1	98.0																																																																								
合計	4,121.8	100.0																																																																									
地区別会議における主な意見																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> 田舎らしい田舎を残したい。 飯南地域振興局周辺には、公共施設や商店が集まっており、地域の拠点となっている。 国道166号の整備及び歩道の設置、冠水しやすい箇所の改良を進めてもらいたい。 森林の手入れが行き届いていないことから、崩落が発生しやすい。森林の手入れによる土砂崩落の防止が必要。 櫛田川浸水履歴地の浸水対策のための河川改修が必要。 有間野公園のモミジ、富士見ヶ原のツツジの自然林などの景観資源がある。飯南高校の周りには、サクラ、サザンカなどの花木がきれい。自然資源や景観資源をつなぐ遊歩道の整備等、集客による活性化の推進が考えられる。 特産品の茶を活用したい。 																																																																											

2. 地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ✓ 地域の土地利用の大半を占める農地・森林の荒廃が進んでおり、森林組合の活用など担い手の確保を含めた保全方策とあわせて木材需要の拡大が必要である。
- ✓ 茶の生産拠点となっており、効率化のための大型機械が活用可能な整備が必要である。

(2) 交通体系の課題

- ✓ 国道 368 号は、桜峠から多気町側で幅員が狭い区間があり、拡幅整備を促進する必要がある。
- ✓ (県)片野飯高線は、3m程度の幅員の区間があり、大型車が通行困難であるため、拡幅整備等が必要である。
- ✓ 集落地内の生活道路は幅員の狭い区間があり、骨格的な生活道路の整備促進が必要である。

(3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 観光資源であるリバーサイド茶倉は国道からのアクセスが悪く、リバーサイド茶倉のアプローチ道路を検討する必要がある。

(4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 櫛田川周辺の浸水被害の抑制に向けて、櫛田川の良い景観と調和した河川改修整備が求められている。
- ✓ 生活排水に伴う汚濁を防止し櫛田川等の公共用水域の水質を保全するため、合併処理浄化槽の普及促進を図る必要がある。

(5) 集落地整備の課題

- ✓ 飯南地域振興局周辺には、公共施設や商店が集積し、地域の拠点となっており、現在の機能の維持増進が必要である。

(6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ 国道 166 号の赤滝交差点付近は冠水しやすく、よく通行止めになる。また、住宅の浸水被害も発生していることから早急な対応が必要である。
- ✓ 崩落防止や水害発生抑制のためにも、担い手の育成・確保を含めた森林の保全が必要である。

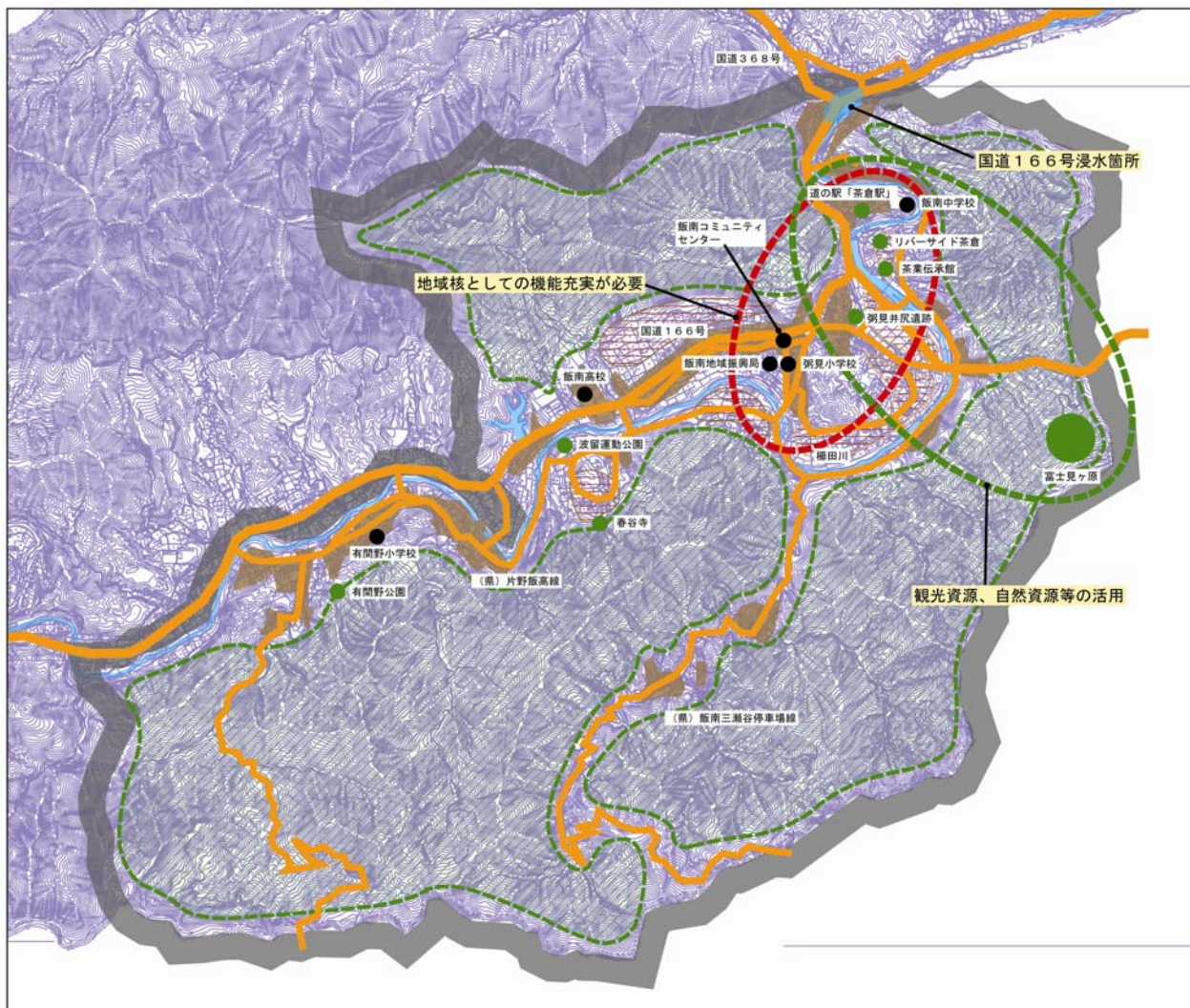
(7) 景観形成の課題









- ✓ 有間野公園のモミジ、春谷寺のエドヒガン桜、サザンカの大木、富士見ヶ原のツツジの自然林などの景観資源があり、これらの保全と活用が必要である。
- ✓ 井尻遺跡・リバーサイド茶倉・茶業伝承館・富士見ヶ原・道の駅茶倉駅を一体的に環境整備し、景観・観光スポットにすることが考えられる。
- ✓ また、自然資源や景観資源をつなぐ遊歩道の整備等のネットワーク化によって、活性化を図る必要がある。

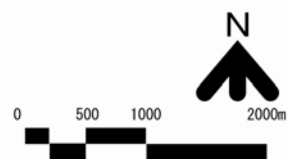
(8) 観光のまちづくりの課題

- ✓ 井尻遺跡・リバーサイド茶倉・茶業伝承館・富士見ヶ原・道の駅茶倉駅を一体的に環境整備し、景観・観光スポットにすることが考えられる。
- ✓ 特産品である茶・松阪牛の活用を進める必要がある。

● 櫛田川中流粥見地域 地域別整備課題図



-  集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区
-  農地として保全する必要性が高い地区
-  森林として保全する必要性が高い地区
-  主な道路
-  バイパス整備及び改良区間
-  主な公園・レクリエーション施設
-  主な河川・水面
-  地区区分界



2 地域別構想

1. まちづくりの目標と主要な柱

飯南地域振興局や道の駅茶倉駅等の配置により、中山間地域の拠点の一つを形成しており、恵まれた拠点性を生かした定住性の維持増進を図るとともに、道の駅「茶倉駅」、リバーサイド茶倉、富士見ヶ原のツツジの自然林、粥見井尻遺跡などの景観・観光資源の活用、お茶の生産拠点の増進などを通じて、自然とくつろぎの里づくりをめざす。

○まちづくりの主要な柱

地域核としての機能の充実
集落環境の保全
景観資源・観光資源の活用
農地の保全
森林の保全

2. まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

- 有間野、向粥見、粥見などに「集落環境保全地区」を配置する。
 - ✓ 地域の拠点である飯南地域振興局周辺は、身近な日常購買需要への対応のために、現在の機能の維持増進に努める。
 - ✓ 増加が見られる空家は、別荘や公的住宅としての活用の検討に努める。
- 周辺を取り巻く森林は引き続き「森林保全地区」として配置する。
 - ✓ 荒廃が進む森林は、森林組合の活用など担い手の確保を含めた保全に努める。
- 集落地周辺の農地は「農地等保全地区」として配置する。
 - ✓ 茶園を含む農地は、茶の生産拠点として適切な茶園の更新整備の促進等に努める。

(2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

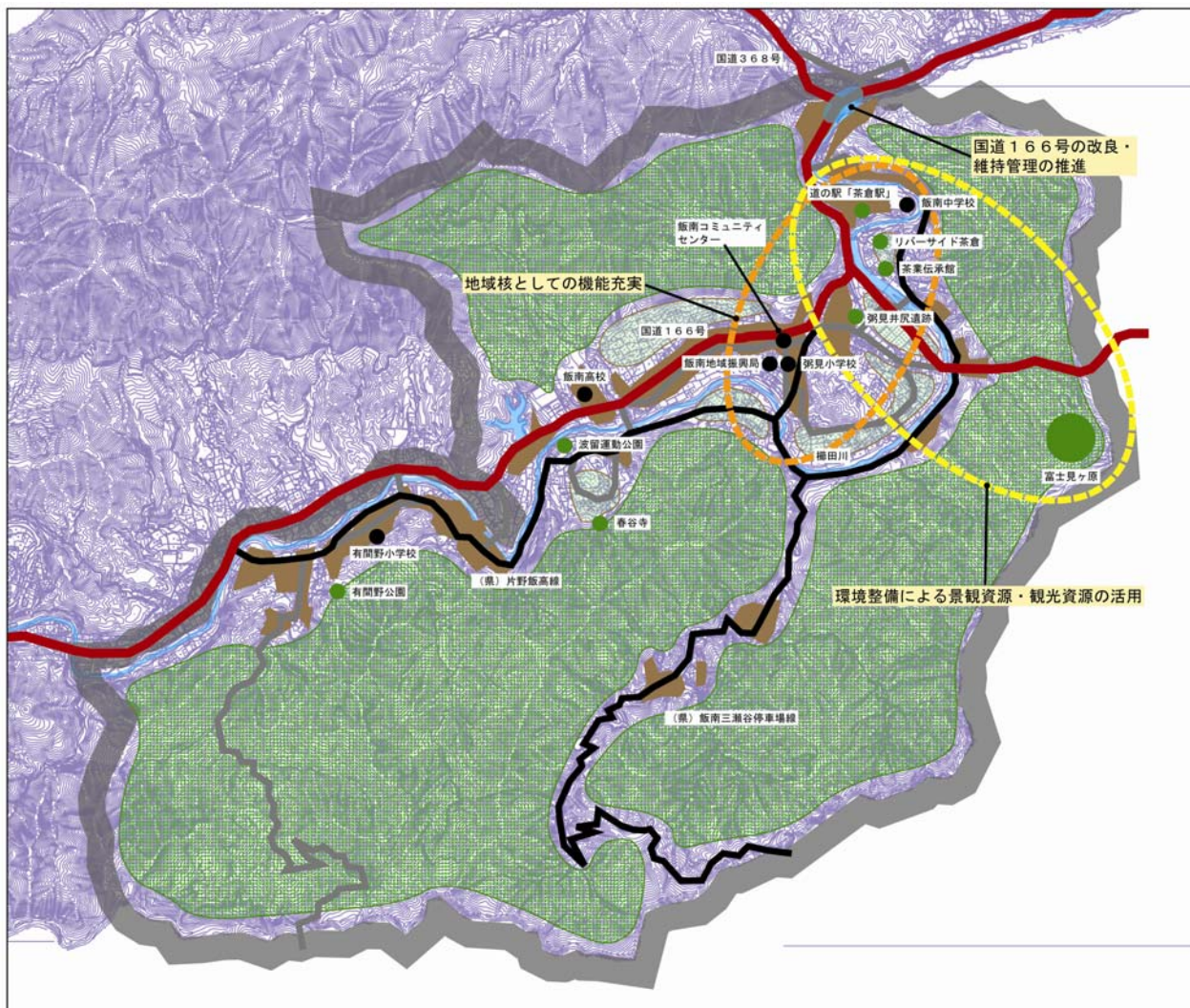
- ✓ 国道 166 号は、見通しの悪いカーブや交差点の改良、歩道の設置などの整備促進に努める。
- ✓ (県)片野飯高線の拡幅整備等の促進に努める。
- ✓ 緊急車両の進入及び避難経路の確保に配慮した骨格的な生活道路の整備促進に努める。
- ✓ 観光資源であるリバーサイド茶倉の利便性の向上のため、新規アプローチ道路の検討に努める。

- ✓ 浸水被害の抑制に向けて、櫛田川の良好な景観及び自然環境に配慮した河川改修を促進する。
- ✓ 合併処理浄化槽の普及促進による櫛田川の水質保全に努める。

(3) 地域環境等の保全に関する方針

- ✓ 幹線道路である国道 166 号の冠水区間の解消に努める。
- ✓ 崩落防止や水害発生の抑制のためにも、担い手の育成・確保を含めた森林の保全に努める。
- ✓ 有間野公園のモミジ、富士見ヶ原のツツジの自然林などの景観資源があり、これらの保全と活用に努める。
- ✓ 井尻遺跡・リバーサイド茶倉・茶業伝承館・富士見ヶ原・道の駅茶倉駅を一体的に環境整備し、景観・観光スポット化の検討に努める。
- ✓ 自然資源や景観資源をつなぐ遊歩道の整備等のネットワーク化の検討に努める。
- ✓ 特産品である茶・松阪牛の振興促進に努める。

● 櫛田川中流粥見地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
	広域幹線道路		低層住宅地
	幹線道路		中低層住宅地
	補助幹線道路		一般住宅地
	主な生活道路		住商複合地
	鉄道・駅		近隣商業地
	主な公園・レクリエーション地区		商業地
	主要公共施設等		商工複合地
	主な河川・水面		住工複合地
	市街化区域界		工業地
	地区区分界		集落環境保全地区
			農地等保全地区
			森林保全地区

